

PRESS RELEASE

2020年11月13日



アッヴィ、PRIDE 指標 2020 でシルバーを受賞

- LGBTに関する取り組みが評価され今年初めてシルバーを受賞
- 結婚に関する新ガイドラインの導入に合わせ、LGBTに関する基礎知識や職場における課題とそのソリューションを全社的に学び、悩みを抱える社員へ相談窓口(社内外)を設置
- 多様でインクルーシブな職場環境において患者さんや社会に貢献できるイノベーションの創出を目指す

アッヴィ合同会社(本社:東京都港区、社長:ジェームス・フェリシアーノ)は、任意団体 work with Pride が2020年11月11日に発表したPRIDE 指標2020で、シルバーを受賞したことをお知らせします。

アッヴィのLGBTに関する取り組み

アッヴィで働く全員がベストを尽くせる環境を醸成する一環として、2020年8月より就業規則および諸規定において同性婚・事実婚を、法律婚と同じ扱いにすることを明記した結婚に関するガイドラインを導入しました。ガイドライン導入に合わせ、2020年7月より性的マイノリティ(LGBT)に関する基礎知識や当事者とのコミュニケーションのヒントを社員に学んでもらえるよう、またLGBTに関連する悩みを抱えているかもしれない社員をサポートできるよう、以下の施策を実施しています。

- eラーニングの導入(基礎編と管理職編)
- 定期的な情報共有(イントラ掲載、ニュースレター配信など)
- 外部講師(トランスジェンダー)によるオンライン講演会+パネルディスカッション
- LGBT相談窓口(社内外)の設置

社長のジェームス・フェリシアーノは次のように述べています。「私たちの取り組みが評価され嬉しく思います。何より大切なことは、アッヴィで働く誰もが自分らしくいられ、敬意と尊厳を持って扱われていることが実感できているかということです。多様でインクルーシブな職場環境においてこそ、多様な視点で考え・意見を出し合うことができ、一人ひとりが異なる健康問題を抱える患者さんや社会に貢献できるイノベーションが生まれます」



アッヴィにおけるD&I文化の醸成は、トップダウンで推し進めるだけでなく、自発的に参加する社員によって運営されるD&Iコミッティが中心となり社員の声を広く集め経営層に提言を行い、これまでも多くの取り組みが実現してきました。今後も、LGBTを含む様々なバックグラウンドを持った社員一人ひとりが自分らしく働くことができ、ベストを尽くし能力を最大限発揮できる職場環境づくりに全社を挙げて取り組んでまいります。

PRIDE 指標について

PRIDE 指標は、日本初の、LGBTQに関する企業等の取り組みの評価指標です。PRIDE 指標2020は、「Policy(行動宣言)」、「Representation(当事者コミュニティ)」、「Inspiration(啓発活動)」、「Development(人事制度・プログラム)」、「Engagement/Empowerment(社会貢献・渉外活動)」の5指標について評価項目を設定し、約1年間(今年は原則2019年10月1日から2020年11月30日まで)における取り組みが、各指標内で指定の要件を満たしていれば1点が付与され、5点満点をゴールド、4点をシルバー、3点をブロンズとして表彰されます。PRIDE 指標の表彰制度の実施は本年で5回目となります。

詳細はこちらからご覧いただけます。 <https://workwithpride.jp/pride-i/>

アッヴィについて

アッヴィのミッションは現在の深刻な健康課題を解決する革新的な医薬品の創製と提供、そして未来に向けて医療上の困難な課題に挑むことです。患者さん一人ひとりの人生を豊かなものにするため次の主要領域に取り組んでいます。免疫疾患、がん、神経疾患、アイケア、ウイルス、ウイメンズヘルス、消化器疾患、さらにアラガンエステティクスポートフォリオの製品・サービスです。アッヴィの詳細については、www.abbvie.com をご覧ください。Twitter アカウント [@abbvie](https://twitter.com/abbvie)、[Facebook](https://www.facebook.com/abbvie)、[LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/abbvie) や [Instagram](https://www.instagram.com/abbvie) でも情報を公開しています。

日本においては、1,200人を超える社員が、医療用医薬品の開発、輸入、製造販売に従事しています。自己免疫疾患、新生児、肝疾患、神経疾患、がんの各領域を中心に、患者さんの人生を豊かにしたいと願い、日々の業務に取り組んでいます。詳しくは、www.abbvie.co.jp をご覧ください。